

■国際課の組織体制について

本年度より、国際課の組織体制が変わりました。企業の海外展開及び国際交流を推進する国際戦略推進担当、多文化共生地域づくりを推進する地域国際化担当、旅券発給等を行う旅券担当となります。

本メールマガジン「とちぎ通信」については、国際戦略推進担当地域外交チームの情野文彩（せいのあやさ）が担当いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【担当者紹介】

氏名：情野文彩

出身：宇都宮市

趣味：カフェ巡り

好きな食べ物：

モッツアレラチーズ

好きな映画：

スタジオジブリ作品

ひと言：社会人1年目でわからないことだらけですが、とちぎびとの皆様の御協力をいただきながら、国際友好交流の推進に努めて参ります。

【略歴】

2021年3月 4年制大学（観光学部）卒業

2021年4月 栃木県庁入庁



■いちご新品種「とちあいか」について



令和2（2020）年7月にいちご新品種「とちあいか」が誕生しました。栃木県として、10番目のオリジナル品種、別名「栃木 i37号」とも

呼ばれていましたが、名称投票キャンペーンの結果、「とちあいか」に決定しました。

この名称には、「 ” とち ” ぎの ” 愛 ” される ” 果 ” 実になってもらいたい」という願いが込められています。

とちあいかは、酸味が少なく、甘さが際立ち、ひと粒が大きいので食べごたえがあります。また、縦に切るとハート型の断面になるため、スイーツ等に添えると見栄えが良く、かわいらしいのが特徴です。とちぎびとの皆様も、機会がありましたら、ぜひ食べてみてください！

<リンク先>いちご新品種「栃木 i37号」の名称決定について
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/houdou/ichigo37gou.html>



▲ハート型の断面

■「とちぎ国際戦略」の策定

本県では、令和3（2021）年3月に、今後5年間の本県が目指す国際化を推進するための考え方や取組の方向性等を示す「とちぎ国際戦略」を策定しました。本戦略に基づいて「世界から選ばれとちぎ」の実現を目指して取り組んで参りますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

<リンク先>「とちぎ国際戦略～世界から選ばれとちぎ～」
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/paburkkukome>

■「とちぎの百様」の御紹介

「とちぎの百様」とは、県民の郷土愛の醸成と本県のブランド力の向上を図るため、後世に残したい、大切にしたい、自慢できる栃木県の100の地域資源を選定したものです。

とちぎの誇る「歴史・文化・人物」、とちぎの美しい「自然」、とちぎの絶品「グルメ」、とちぎの楽しい「観光・レジャー」の4分野にわけ、それぞれ選りすぐりの地域資源が掲載されています。現在、小中学校における「とちぎふるさと学習」教材などに活用されています。とちぎびとの皆様もぜひ「とちぎの百様」を活用した本県PRをお願いいたします！

<リンク先> 「とちぎの百様」について

<http://www.100sama.tochigi.jp/>



▲(左)栃木県民様 (右)レモン牛乳様

人以外のものにも「様」を付けて擬人化することで、「敬意」や「親しみ」などを表しています。

■県内における新型コロナウイルス感染症の現状

本県の感染状況は、3月上旬から増加傾向にあり、5月31日現在での累計感染者数は6,329人に達しています。近接都県で感染者が増加している中、変異株による急速な感染拡大を未然に食い止める必要があり、依然として予断を許さない状況が続いています。

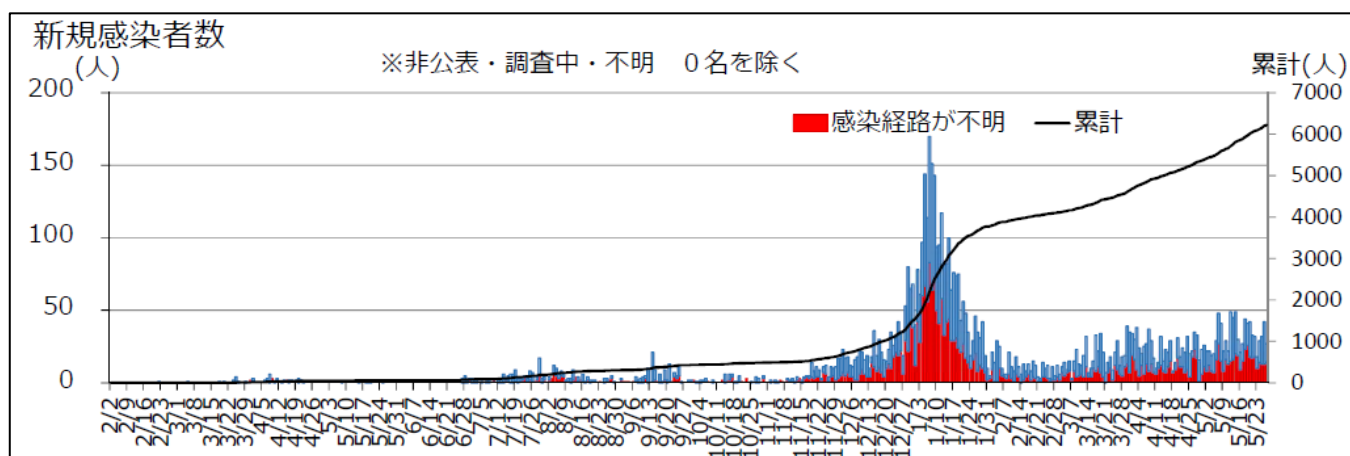
本県では、2月に医療従事者等の先行接種が始まり、4月12日より高齢者(本年度中に65歳以上になる方)への接種が順次実施されています。高齢者の次に基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者に接種が行わ

れた後に、それ以外の方への接種が行われる予定です。

現在、県では、会食中に会話をする際のマスク着用を徹底する「会話する＝マスクする(カイワスルハマスクスル)運動」などを展開し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の維持の両立に向けて取り組んでいるところですが、「とちぎびと」の皆様におかれましても、くれぐれも御自愛ください。

<リンク先> 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c05/kouhou/korona.html>



発行・編集：栃木県産業労働観光部国際課

E-mail: senryaku@pref.tochigi.lg.jp

発行日：2021年5月31日(月)

世界で活躍する 「とちぎびと」の ご紹介

世界で活躍する「とちぎびと」の皆さまを紹介させていただくこのコーナー。今回は、アメリカ・ハワイ州オアフ島に所在する「ハワイ栃木県人会」の今村宏子会長に、同県人会の活動について執筆いただきました。今村様、ありがとうございました。ハワイ栃木県人会の皆さまのますますのご活躍を期待しています。※皆さまからの執筆ご希望の連絡をお待ちしています！

ハワイ栃木県人会

会長 今村宏子

aloha!

2018年1月11日、
ハワイ州にて2度目
の「ハワイ栃木県人
会」がスタートしま
した。(現会員の一人
から聞いた話による



と、約30年前にはハワイ栃木県人会が存在していた
そうですが、残念ながらその後は...) オアフ島で
開催された東日本大震災チャリティーコンサートの
ボランティアに参加した時、他県人会の話聞き、他
県人会の皆さんの“横のつながり”の強さに驚き、ま
た日本を離れていても“地元とのつながり”を持
てることに将来性を感じ、栃木県出身の島民探しが始
まりました。現・弊会顧問の一人も同じボランティアに
参加していたことや、今では当たり前のSNSで既に栃
木県出身者とつながっていたこともあり、まずは顔合
わせを兼ねた懇親会を開催したのが2018年1月11日。
私を含めた3名で栃木県出身の島民へ声かけをし、10
名以上の会員が集まり、「ハワイ栃木県人会」の発足と
なりました。

昨年、COVID-19でロックダウンとなり、現在も活動
に制限がありますが、以前は年に2~3回、県人会を開
催していました。毎年3月にオアフ島にて開催されて
いるホノルルフェスティバルのフィナーレ、会員のご
自宅を提供していただき新潟県長岡市の長岡花火観
賞会や、会員のコンドミニアムで会員家族も同伴バー
ベキューパーティー、また栃木県庁との間に入り弊会
と栃木県をつなぐハワイ愛たっぷりのハワイ栃木県
人会栃木事務局員(栃木県在住者)が来島される時な
ど、親睦会を開催し、開催するごとに会員が新しい会
員を連れてきて、今では30名を超える会員数です。昨
年は先にあげたホノルルフェスティバルへブース出
店などの目標もありましたが、COVID-19のパンデミック、
世界がロックダウンし、イベントももちろん中止
となりました。観光が第一産業のハワイ州は壊滅的な

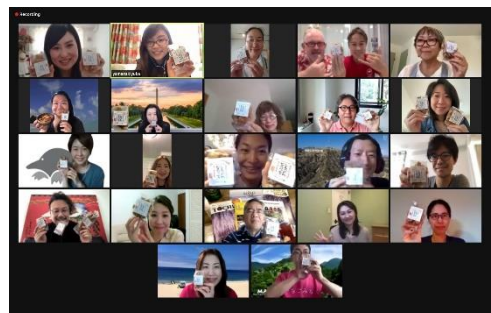
ダメージを受けています。

そんな中、今年4年目に突入した弊会ですが、COVID-
19のおかげで「栃木ゆかりのみ」という月1回のオン
ラインミーティングに参加し、世界中の栃木県人会の
皆さんとオンラインを使ってつながることができます。また他
県の県人会とclubhouseなどでも交流、情報交換をし、
海外に住んでいるからこそ、故郷とどう
つながっていくのか、皆さんのお話を聞きながら栃木
県に貢献できることを「栃木ゆかりのみ」ミーティ
ングの場で話し合っています。

日本時間の5月23日には、栃木ゆかりのみ✳しも
つかれブランド会議の企画「しもつかれビスコッティ
世界同時オンライン試食会」に参加し、しもつかれ✳
ハワイの食文化を提案し、次回へつながる有意義なも
のとなりました。5月24日の下野新聞にはこのオンラ
イン試食会の様子が掲載されました。読者の皆さんに、
海外で暮らす栃木県出身者がいることを知ってもら
う良い機会になったと思います。

私にはハワイの名前があります(古代ハワイから伝わ
る伝統的なLomilomiという代替療法の師でもあり、
私のハワイの母が名付けてくれました)。

Kalei(カレイ)=Lei(レイ/お花をつないで輪にした、
首などにかけるもの)のように、何かと何かを「つな
ぐ」。それは人と人、人と何か、かもしれません、
それが私のお役目です。ハワイ栃木県人会として
も、ハワイ✳栃木県✳何かをつなぐことが故郷への
貢献と思っています。mahalo nui loa



▲「しもつかれビスコッティ世界同時オンライン試食会」

連絡先 email: hirokojimmamura@yahoo.co.jp

「栃木ゆかりのみ」参加希望の方も email にてご連絡ください。